

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		運動療育型児童デイ メイト		公表日		R8年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		不要なものは破棄し、使用した大きいものはすぐに片付けるなど広いスペースを確保していく	広いスペースを確保するようにする	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	日により支援員の手薄が見られるが、安全最優先し、場合によって他事業所からヘルプをいただき安全に運営している	円滑に運営できるよう支援員の現場支援のスキル向上を目指す	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		必要な情報は資格情報として提示している	利用者の特性により安全に設備を配置している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		清掃は毎日30分、各所を毎日消毒している	運動マットの汚れ、壁紙の剥がれなどがあるので早急な交換修理が必要である	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		不安定時のクールタイム等、必要に応じて使用を認めている	安心出来るスペースの確保を行なっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		児童の特性などに応じて諸君が意見を申し出ている	これからの継続していく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		いただいた意見をもとに業務改善を図っている	意見を全職員と共有し改善していく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝礼、終礼、定期的にミーティングを開き意見のすり合わせを行なっている	今後も継続していく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	外部調査は行っていない	今後も受けていく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部講師をお招きし、学んだスキルを支援に落とし込んでいる	外部の研修にも定期的に参加していく	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		全員の意見を集約し支援プログラムを作成している	今後も継続していく	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		全員の意見を集約し個別支援計画書を作成している	今後も継続していく	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		全員の意見を集約し個別支援計画書を作成している	今後も継続していく	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		場合によって個別支援の見直しを行なっている	今後も継続していく	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		適宜取り組んでいる	今後も継続していく	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		全員の意見を集約し作成出来ている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		個々の職員の得意を活かした活動、児童からリクエストを募りながらプログラムを作成している	今後も楽しんでいただける活動内容にしている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		過去のプログラムを振り返りながら固定化しないようにしている		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童の特性に合わせ必要に応じて個別療育の時間を設けている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼の時間を設け役割分担の明確化、終礼を行い振り返りを行なっている	今後も取り組んでいく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終礼後に児童の様子、支援方法など共有している	今後も取り組んでいく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		ケース記録等で1日の様子の記録保管、その振り返りを行なっている	今後も継続していく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		必要であれば個別支援計画の見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		必要に応じて立案、実施している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		職員からの意見ではなく児童へまずどうしたいか？どうすれば解決できるかなど自己決定の時間を設けていく	今後も継続していく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	定期的に参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		必要に応じて取り組んでいる
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		保護者さまと連携を取り学校での困りごとや様子など共有していただいている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6	当事業所では卒業生はいません	今後対応していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		必要に応じて取り組んでいく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6			そのような機会を今後設けていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		そのような機会を今後設けていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時やお電話で共有できている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		そのような機会を今後設けていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時、利用時に必ず説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		ご要望などあれば運営に反映させている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		作成した支援計画書をお見せしている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時やお電話で対応しており、保護者様から意見をお聞きし、アドバイスを行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6		今後そのような機会を設けていく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		電話以外でも電子媒体を利用し、連絡の取りやすい状況を確認している	迅速に対応している
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		SNSを利用し児童の様子をお見せしている	今後も取り組んでいく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付き書庫に保管している	今後も継続していく
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		電子媒体、ケース記録にて情報の共有を行っている	今後も継続していく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		クリーンアップ活動に参加している	今後も継続していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	定期的に避難訓練など開催し児童に危険な場合どのように避難すればよいかを実践していただいている	今後も継続していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	定期的に職員向けの避難訓練を行っている	今後も継続している
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこのどもの状況を確認しているか。	6		契約時てんかんの有無をお聞きし、対処法や服薬、緊急時の連絡先などお聞きしている	今後も継続していく
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時、利用時に必ず説明しているアレルギーがあるかをお聞きし職員と共有している	今後も継続していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		定期的に法人内で安全面に特化して研修を実施、参加できなかった職員へ必ず内容を共有している	今後も継続している
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		学んだスキルを現場に落とし込んでいる	今後も継続していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットを記載している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		必ず開催している	今後も必ず継続していく
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		文書にて説明を行い、必要に応じて個別支援計画書に内容を記載し、同意を求めている	今後も継続していく